

LL Navig. '11

～5分ぐらいでわかるLLイベントのこと～

日本UNIXユーザ会

法林浩之

hourin@suplex.gr.jp

まずは簡単に

自己紹介

詳しくは

「法林浩之」

で検索

フリーランスエンジニア

日本UNIXユーザ会(jus)幹事

ITコミュニティ活動歴20年超

LLイベントでは

運営のまとめ役

日本UNIXユーザ会



日本におけるITコミュニティの草分け

Internet Week 2010

巨人の肩から未来を見る

富士ソフトアキバプラザ 2010 11.24 Wed - 11.26 Fri



～ KOFイベントのこれまでとこれから ～ 実行委員長 中野秀男 特別講演

関西オープンフォーラム10周年記念シンポジウム

日時 2011年5月21日(土) 14:00～17:00 会場 大阪産業創造館 4Fイベントホール

KANSAI OPEN SOURCE Pre2011

jus研究会JAPAN TOUR

軽量プログラミング言語に関する総合カンファレンス

Lightweight Language Planets

2011.8.20 文京シビックホール



UNIX のみならず IT全般を 対象に活動



LLイベントを

知ってる人?

LLイベントに
参加したこと
がある人？

Lightweight
Language?

Perl, Ruby, Python,
PHP, JavaScript, LISP,
Scheme, Haskell, Scala,
sed, awk, shell, etc....

手軽に書ける

プログラミング言語と

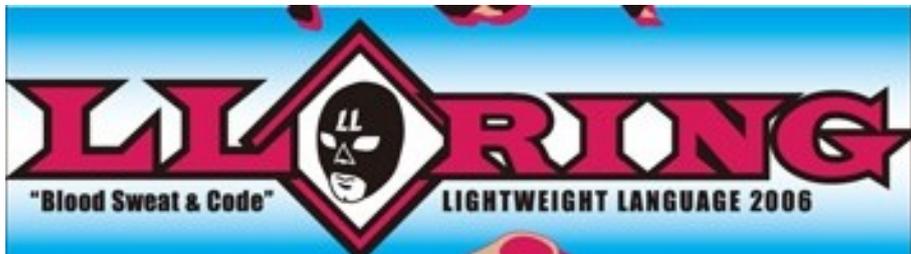
それに関わる人々の集まり

Lightweight Language Saturday



軽量プログラミング言語と共に拓く、新たな未来へ

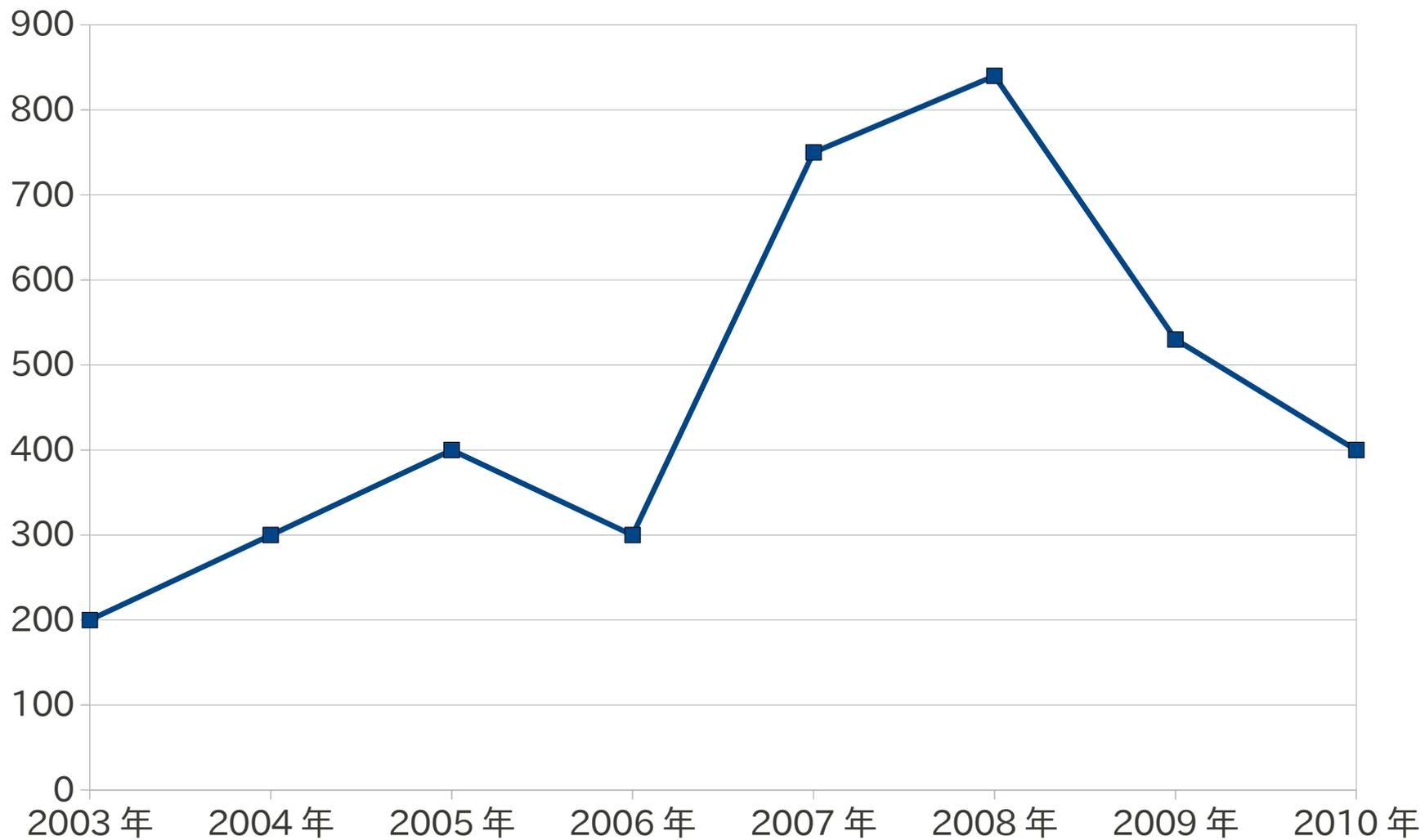
Lightweight Language Future



2003年から
毎年開催



Lightweight Language Planets
2011年8月20日(土)
文京シビックホール・小ホール



参加者数の推移

多数の言語コミュニティが
集結するイベントは稀なのが
大規模化した要因か

大規模イベント

ならでの

傾向と対策

傾向その1

イベントが大きくなると
予算規模も拡大

初年度(2003年) 30万円

最大時(2008年) 200万円

昨年度(2010年) 100万円

対策その1

jusが会計を担当

jusは任意団体だが
税務署に申告をしている

会計処理が気になるなら
jusに相談を

対策その2

チケットの導入

業者に委託してチケットを販売

参加者は**チケットを購入**
することで参加費を支払う

2年目(2004年)から導入
IT系コミュニティでは**最初?**

当日の現金授受削減 受付処理の簡略化

事前決済なので
当日の出欠に関係なく
参加費を徴収できる

ちなみにLLイベントでは
金銭の協賛を受けずに
すべて参加費でカバー

金銭スポンサーは
景気に左右されるので
継続性に不安あり

それよりは前向きな参加者達の
参加費で運営する方が
継続性は高い

傾向その2

イベントが大きくなると
スタッフの人数も増大

実行委員

初年度12人→現在35人

各言語コミュニティ/jus/
出版関係/個人参加/etc...

対策その1

番長制

担当者を〇〇番長と呼ぶ

細部は担当者に一任

状況を実行委員会のMLに
報告しつつ作業を進める

対策その2

闘魂宣言

LL2019/闘魂宣言

[表](#) | [凍結](#) | [差分](#) | [バックアップ](#) | [添付](#) | [リロード](#)] [[新規](#) | [一覧](#) | [単語検索](#) | [最終更新](#) | [ヘルプ](#)]

個人情報につき取扱注意!!!

闘魂宣言のやりかた[†]

以下のいずれかを実行してください。どれもやらなかった人は実行委員会のMLから削除します。

- キックオフミーティングの出欠表(伝助)に回答する
- 実行委員会のMLにて宣言する
- キックオフミーティングに出席する

ニックネーム、メールアドレス・名前等の対応表(順不同)[†]

当日出欠	ニックネーム /IDなど	ML登録	メールアドレス	氏名(エンドロール掲載用)	その他連絡先等	担当、備考など
	hourin	○	hourin@suplex.gr.jp	法林浩之		まとめ

毎年、実行委員を務めるかどうかの
意思確認を行う

できるだけ
幽霊部員を作らない

みんな何かを担当することで
負荷分散

傾向その3

イベントが大きくなると
参加者全員の満足度を
上げるのは難しい

対策その1

レベルを上げすぎない

一般的には回を重ねるごとに
マニアックになりがちだが
それではついていけない人が増えて
参加者が減ってしまう

話題やレベルに

幅を持たせて

どこかのセッションで

喜んでもらう

対策その2

技術以外の部分で
楽しんでもらう



2005年 LLDN・夜の部
トークライブハウスで開催



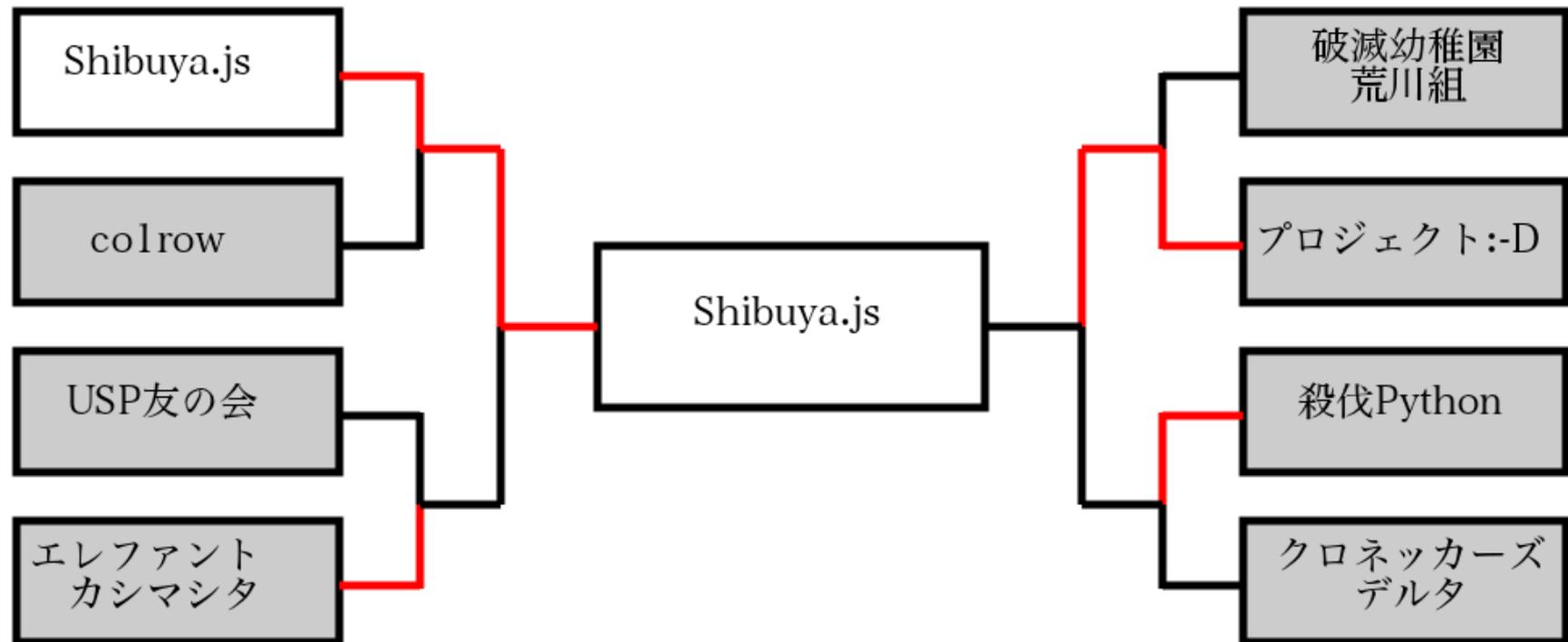
2006年 LL Ring
プロレス専用会場で開催



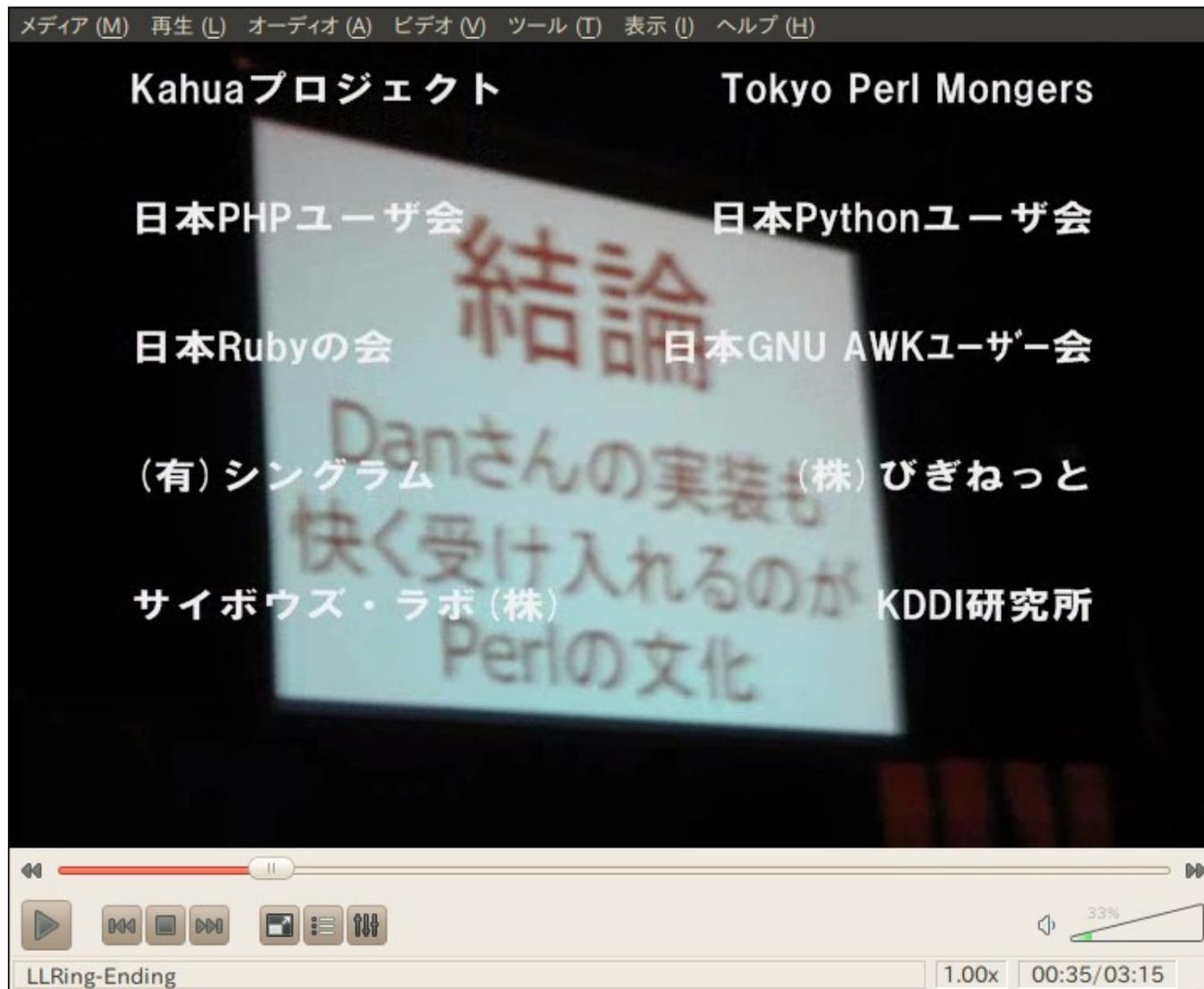
2008年
LL Future

ドラ娘が登場

LLTiger LTの虎: トーナメント表



2010年 LL Tiger
LTのトーナメントを開催



オープニングとエンディングで
映像を使用(2006年から)

こういう楽しみを
提供することで
会場に行く価値を
高めたい

そんなこんなで

来年ついに

10回目

その前に今年のLL Planetsをよろしく



<http://ll.jus.or.jp/>
twitter: lljapan
facebook: lljapan

【拡散歓迎】8月20日は

LL Planetsに行こう！

チケット絶賛発売中！

<http://ll.jus.or.jp/>

#llplanets #metacon